

# 注 意 報

長崎県病虫害防除所長

令和元年度病虫害発生予察 注意報第12号

## たまねぎ（早生・中晩生） ベと病

1. 発生地域（対象地域） 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

(1) 3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発病株率0.7%（平年 0.1%）、発生圃場率75.0%（平年 15.0%）で、一部多発圃場が見られた（図1、2）。

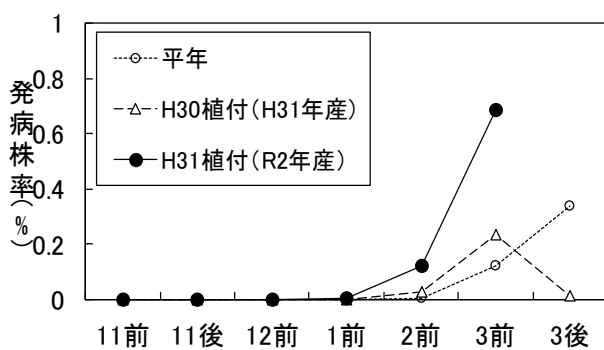


図1 たまねぎべと病発病株率の推移

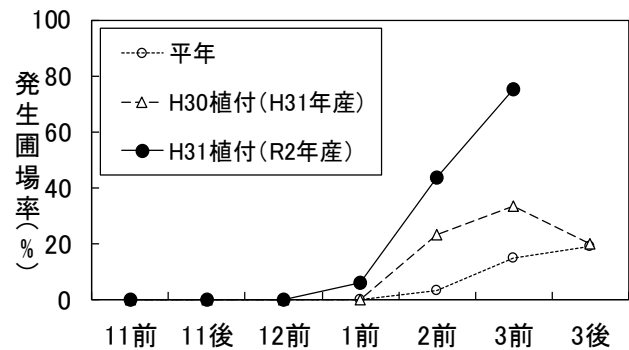


図2 たまねぎべと病発生圃場率の推移

(2) 3月5日に実施した定点調査（諫早市：20筆）の結果、発病株率0.7%（前年同時期 0.2%）、発生圃場率80.0%（平年 50.0%）であった。なお、多くの発生圃場において、二次伝染の病斑が見られた（図2、3、4）。

(3) 気象予報（福岡管区气象台、令和2年3月12日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高く降水量は平年並の見込みであり、本病の感染に好適である。

4. 防除対策

(1) 圃場をこまめに見回り、発病株を発見したら早急に抜き取る。抜き取った株は圃場内に放置せず、孢子が周囲に飛散しないようにその場で直ちにビニール袋等に入れ圃場外に持ち出し、市町に処分方法を確認して焼却施設に搬出するなど適切に処分する。

(2) 薬剤散布にあたっては天候（降雨）や薬剤の残効性を考慮しながら7日間隔の防除を徹底する。発生が見られない（少ない）圃場については下図のとおりジマンダイセン水和剤の連続散布をおこなう。多発圃場については浸透性のある治療剤（CAA剤等）を下図の体系の中に組み込んで防除を行う。

図 当面の防除スケジュール

	3月			4月
	上旬	中旬	下旬	上旬
	ジマンダイセン水和剤	ジマンダイセン水和剤	ジマンダイセン水和剤	ジマンダイセン水和剤

(3) 畝間に水が溜まるような圃場については、明渠の切り直し等、排水対策を徹底する。



図1 多発圃場の様子



図2 一次伝染株と二次伝染株が混在



図3 二次伝染の病斑

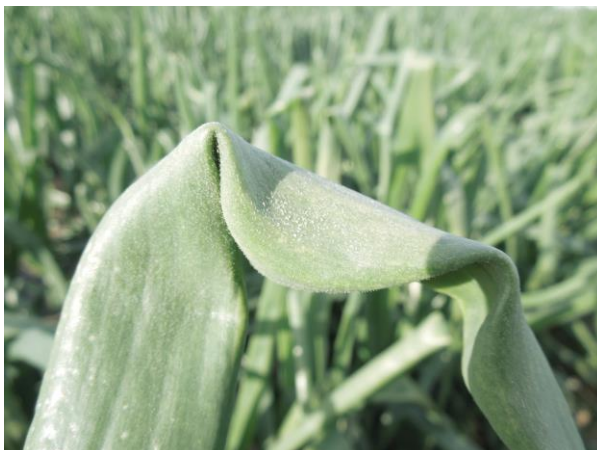


図4 分生胞子を形成した二次伝染の病斑

※写真はすべて令和2年3月12日撮影

○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病虫害防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

